

【講座名】

2022 年度 東京工業大学 CUMOT-STAMP 連携プログラム

【授業計画】 2022 年11月～2023 年2月(10 回)

第1回 「技術の創出と経営の判断」

－通信技術と携帯電話の新たな市場の創出

講師 潮田 邦夫 (元) (株)NTTドコモ常務取締役法人営業本部長

要旨 本事例は、NTTドコモ社で携帯電話の拡大の転機となった i-mode 開発と、ワイヤレスソリューションの世界を広げ、携帯ワールドの基盤づくりを図った内容である。

第2回 「新興国の事業展開のポイント」

－川喜田二郎氏直伝の問題解決ツール「KJ 法」の活用

講師 岡部 聡 (元) トヨタ自動車株式会社専務取締役

要旨 本事例は、元東京工業大学川喜田教授から学んだ野外科学の考え方をベースに、トヨタでの新興国事業展開 における問題解決の事例である。

第3回 「壁を壊し意識を変えるチームビルディング」

－はやぶさ2:開発期5つの苦難を打破した変革

講師 山浦 雄一 (元) 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 理事

要旨 探査機「はやぶさ2」は5つの苦難で開発完了・打上げさえ危ぶまれた。意識の壁、組織間の壁が行く手を阻んだ。事態を打開したのは経営(講師)のセオリー破りのチーム再構築。チームビルディングが壁を壊し意識を変え、拡大ワンチームが成功を生んだ事例である。

第4回 「研究開発をビジネスに結びつけるベンチャー起業」

－社内ベンチャーの立ち上げを通じた経営と意思決定

講師 木下 泰三 (元) (株)日立製作所 ICT 統括本部 IoT クラウドサービス事業部 事業主幹

要旨 講師が立ち上げた IoT 社内ベンチャーにおける、製品ビジネスや新規ソリューションビジネスの経営での経験を踏まえ、新事業立上げの考え方、経営戦略(ビジョン、ソリューション、コア製品、技術知財、営業、品質、財務、人財など)、社内ベンチャーのあり方などを紹介し、討議する。

第5回 「テクノロジーの進化がもたらす産業構造・社会生活の変化と新たな事業機会」

－新たな競争軸(CASE)の出現

講師 三木 一克 (元) (株)日立メディコ 代表執行役 執行役社長

要旨 Connected(つながる車)、Autonomous(自動運転)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)から成る CASE の出現は、交通革命を生じるだけでなく産業構造と社会生活にも大きな変化を引き起こす。変化する将来において新たな事業機会を創出するチャンスが到来すると期待される。

第6回 「経営者視点の実践的開発プロジェクトマネジメント」

－多様なステークホルダーが関わるシステム開発のプロジェクト運営

講師 井上 保 (元) 富士通テレコムネットワークス株式会社 代表取締役社長

要旨 本事例は、プロジェクトマネジメント(PM)において「失敗しないための実践的な知恵」を学ぶとともに、プロジェクトのゴールを左右する「ステークホルダーの存在」と「人間の振舞い(グローバルに共通)」について理解を深める。ケースを通して炎上プロジェクトの立て直しについて考え、討議する。

第7回 「組織の成長に欠かせないベンチャー精神」

－大企業における組織の再活性化

講師 海野 忍 (元) NTT コムウェア株式会社代表取締役社長

要旨 本事例は、大企業の中で社員の活性化を図る方法について、その具体的施策をハード面、ソフト面に分けて提案するものである。ベンチャー企業ではできることが、企業が発展し規模が拡大するにつれてできなくなる理由を分析し、それを防ぐ方法について考察していきたい。

第8回 「新規事業の開発・導入から発展へ」

－Suica の開発と導入 IC カードの国際調達紛争 電子決済プラットフォーム

講師 井上 健 (元)東日本旅客鉄道株式会社常務取締役鉄道事業本部副本部長

要旨 本事例は、IC カードの研究に始まり、Suica 実用化による電子乗車券システム導入さらに Suica を活用した新事業展開の内容である。

第9回 「経営の現場と危機管理」

－戦略・ビジョンの役割と経営現場の危機管理

講師 中村 房芳 (元) 株式会社 IHI 代表取締役副社長

要旨 経営の現場では日々リスク、クライシスへ対応してゆかなければならない。そのときのキーとなる発想は何か、(株)IHIにおける車両用過給機事業での事例を元に考えてゆくものである。

第10回 「大型・複合・国際化するプロジェクトにおいてプロジェクトリーダーに要求される資質は何か」

－海外プロジェクトにおけるプロジェクトの問題点、課題を見抜く

講師 野呂 一幸 (元) 大成建設(株) 常務役員 設計本部長

要旨 日本企業が海外で展開する多くの事業・プロジェクトは大型・複合・国際化している。本事例は、大成建設で数多くのプロジェクトで経験したことを紹介し、プロジェクトの問題点、課題を見抜き、プロジェクトリーダーに要求される資質は何かについて焦点をあてた内容である。